



No.104

市政の窓

「頑張りを誓う」

令和2年も歳旦祭で幕が明け、例年のごとく数多くの新年会などに出席させていただきました。先々「今年年は平穏な一年になるよう祈る」との挨拶があり、昨年秋に本市を直撃した台風や豪雨を二度と経験したくないとの思いがこもっていたようであります。

新春を飾る大きな行事では、11日に消防出初式に出席。昨年の自然災害に際し、消防団の多大なる尽力に対して感謝の気持ちとさらなる強い信頼感と期待感を持って臨みました。寒空の下、規律正しく俊敏な動作は実に頼もしく感じたところであり、有事の際、市民が

最も頼りにするのが身近な消防団であります。温暖化の影響により、東日本に接近する台風が増加が危惧される中、市としても万全の防災対策に努めてまいりますが、同時に消防団のますますの進展を願う出初式でありました。

翌12日には、343人の新成人を祝う成人式に出席。多くの来賓が列席し、華やかな雰囲気の中で、盛大に挙行されました。今年も各地の成人式での傍若無人な若者の立ち振る舞いが報道されておりますが、新成人の仲間が実行委員として運営している本市の成人式は、整然とした見事な式典でありました。

成人代表3人の意見発表も素晴らしいものでした。すでに社会人として活躍している皆様、在学生で勉学に勤しむ皆様には、将来の

夢に向かって、さらなる飛躍を祈念いたしますとともに、願わくは、将来、匝瑳市民として「ふるさと匝瑳」発展の推進役を担っていただくことを期待しております。

翌週19日には、515人の選手が参加された健康マラソン大会に出席。寒さを吹き飛ばす熱気溢れる中で開催されました。スターターを務めさせていただきましたが、短距離のスタートのような猛ダッシュで飛び出す気迫とともに、ゴール前では、残る体力と気力を完全燃焼し、競り合う健脚ぶりを目の当たりにし、私も勇気をいただき今年一年に向けての頑張りを誓ったところであります。

皆様には寒さ厳しき折柄、体調に留意されさらなるご活躍をお祈りいたします。

匝瑳市長 太田安規

飯高を歩く 檀林と火事

匝瑳探訪 165



飯高寺火災防御訓練の様子

毎年1月26日は「文化財予防デー」です。この時期に各地で防火訓練が行われることが多く、江戸時代僧侶の学問所だった飯高寺(飯高檀林跡)でも実施されています。国の重要文化財として同寺に残る講堂、鐘楼など4棟は平成の時代に修復され、防火設備も整えられています。

檀林が開かれていた頃

は、前記の主要施設の他に100余りの寄宿舎に数百人の学徒が生活していました。

宿舎などからの出火の際には寮主や屋主の責任が問われ、重い罪では檀林からの追放、3年や1学期の謹慎などがありました。

飯高寺周辺には寺が所有する田を耕作する農家があり、村内の火事も寺

へ報告され、檀林事務長の日誌に当たる記録から、何件かの火事とその後の対応が知られます。

火事が治まると、檀林の教授陣が検証し、近隣の中村檀林(多古町南中)や周辺の寺々、

村々に、檀林から学僧が見舞いのお礼として出掛けます。

1861(文久元)年の寮火事の際には、寺領の村役人が近隣16か村へ酒を持参し、他の6か村には口頭で礼を、また村内若者衆らに礼金が配られました。

1865(慶応元)年10月夜の火事は、西風が強く檀林の梵鐘(釣り鐘)や太鼓をたたくほどの大火で学徒寮を含め13軒に類焼しました。村内をはじめ近隣34か村から消火に駆け付け、炊き出しも行われました。

当時の消火方法は、現在のように水を掛けて鎮火させるのではなく、燃え広がらないようにする「破壊消火」でした。檀林ではこの火事後、境内の用水桶とはしごの点検を実施しました。また、かつて講堂内で「龍吐水」という手押しポンプを見たことがあります。(市文化財審議会委員・依知川雅一)

問秘書課広報聴班 73・0080

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

平成と令和元年締めくくる

西光寺にて除夜の鐘打つ

令和二年平穏な年を祈りつゝ

心引き締め暦をめくる

姑留守の部屋に置かれしシクラメン

夫が買に来て正月を待つ

「年男」冬至迎えし年の瀬に

少し長めの柚子湯につかる

もう母に説教されることもなし

あの時のあの声がなつかし

目覚めると冬ねぎ出荷の音聞こえ

促されるがに暖房点ける

一日の今日は長きや外は雨

糟床掻きて小蕪を埋めん

高橋百合子

鈴木 知子

伊藤 英子

大木 洋一

椎名 昭雄

依知川雅一

鈴木 和子

川口城司 推薦

書初めは干支の子丑一字づつ

半紙に書いて飾る床の間

元旦は父が若水汲みだし

年神家族揃ひししのぶ

箱根駅伝往路復路と欠かさずに

テレビ観戦今年も熱く

「生きをらばまた逢へるよ」と添書きの

賀状は長病む友よりのもの

渡辺 重雄

大木 政子

石田 秀子

稲葉 雪子

俳句

高安せい子 推薦

初日の出黎明の湖揺るがして

野のものを褥しとねに咲けり仏の座

七宝の帯締めおびの紺寒の入

四方の春住み古る郷つがの恙なし

雑煮雑煮椀揃って囲む三世代

なまはげの思い出語る夫かな

初詣年に一度の羽織着て

椎名 晴江

椿 和枝

大川 宣子

光瀬甲江子

安藤 建子

鈴木 文子

椎名 貴寿

川口城司 推薦

年新た五臓六腑の淀みなく

飛び石に山茶花ひとひら夕陽差す

真冬の日沈みて重機沈黙す

川柳

勝又康之 推薦

廢屋に見事に咲いた臥龍梅

乱れ咲く梅の香りに下戸も酔い

冬陽落ちじつと耐えてるしだれ梅

梅香り土手の日だまり人の群れ

梅咲きて空の青さに希望湧く

我が生家梅の大木庭にあり

盆栽の梅咲かすコツテレビ見る

椿 謹二

松野 敏昭

岡田けい子

佐久間美智子

安藤 幸恵

常世田やす子

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



- 臨時休館日(蔵書点検のため)… 1日(土)～4日(火)
- 休館日… 毎週月曜日・25日(火) 問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

返却ポスト

休館中の本・雑誌の返却は、「返却ポスト」を利用できます。DVD・CDは開館時間中にカウンターへ返却してください。

雑誌など譲ります

5日(水)から9日(日)まで、古くなった雑誌などを譲ります。図書館に登録のある人が対象で、1人10冊までです。

人形劇を楽しむ会

市内のボランティアグループ「お

はなしやさん」による人形劇です。『おおきなかぶ』などを上演します。入場無料です。
 日時… 3月1日(日) 10時20分開場・30分開演(1時間公演)
 場所… 八日市場公民館会議室
 『おおきなかぶ』の絵本は、八日市場・のさかの両館で所蔵しています。

2月の「おはなし会」

- ★ 八日市場図書館 毎週土曜日(1日除く) 14時から約30分間
- ★ のさか図書館 第4土曜日 10時30分から約30分間

おすすめの本

『ボブが教えてくれたこと』
 ジェームズ・ボーエン／著
 服部京子／訳 辰巳出版

さまざまな困難の末、路上生活をしてきたヘロイン中毒の青年ジェームズは、一匹の野良猫ボブと出会い、人生が変わります。あわせて『ボブ』という名のストリート・キャット』『ボブがくれた世界』もどうぞ。

『11匹きのねこ』
 馬場のぼる／著 こくま社

いつもおなかがペコペコの11匹の野良猫は、怪物のように大きな魚を捕まえに出掛けて行きますが…。1967年刊行のロングセラー絵本です。家族でお楽しみください。